

泰日協会学校（バンコク日本人学校）学校だより

Thai Japanese Association School



令和6年度

第10号

<https://www.tjas.ac.th>

小学部職員室

02-319-5457

中学部職員室

02-314-7335

バンコク日本人学校の特別支援教育  
～ 一人一人を大切にしたい教育を目指して ～

統括特別支援教育コーディネーター 来栖 智史

「特別支援教育」と聞くと、どのようなイメージをもたれるでしょうか。もしかしたら、あまり聞いたことがない人もいらっしゃるかもしれません。文部科学省においても特別支援教育の充実については重要視されており、本校でも「特別支援の視点をもった、個に応じた指導の充実」を教育活動の特色としてあげています。多様な文化や様々な価値観が混在するこれからの時代において、「一人一人を大切にしたい」特別支援教育について、本校における捉え方や実践方法をお伝えいたします。

## 1 バンコク日本人学校の特別支援教育の捉え方

バンコク日本人学校においては、障がいの有無に関わらず、在学する全ての児童生徒に対して必要な支援や配慮を行うことを基本としています。例を挙げると、学力の問題、学校への不安、海外にルーツをもち日本語に不安を抱える児童生徒、学校や家庭の問題など様々なことが要因で困難を抱えている場合がその対象となります。そういった視点で考えると、対象となる児童生徒は多く、身近なものとなってきています。

## 2 本校における特別支援教育の6つの柱

通常の学級内における支援	学級担任や教科担任が中心となり、個別の支援を実施します。必要に応じて、学年教員や特別支援教育コーディネーターなどと情報共有しながら、学習面や生活面の支援を行います。
なかよし学級 (特別支援学級)	特別な支援が必要な児童生徒のための学級です。なかよし学級に在籍している児童生徒も通常学級の仲間です。インクルーシブ教育の考えを基に本校では取り組んでいます。
日本語指導 (1、2年生対象)	国際結婚家庭やインター校からの編入生など、日本語で学ぶことに困難を抱えている児童に対して週2時間程度、少人数で指導を行っています。

通級による指導	特別な支援が必要な児童生徒に対して、週1時間程度、ソーシャルスキルトレーニングや日本語指導など、児童生徒の困り感に応じた指導を行っています。
スクールカウンセラーとの連携	臨床心理士・公認心理士のスクールカウンセラーが、児童生徒や保護者のカウンセリングを行っています。友人関係、不登校、発達面の悩み、親子関係など様々な面で相談・助言や心のケアを行っています。
ふれあいルーム	不登校や行き渋り傾向、在籍学級において不安などがあり活動が難しい児童生徒に対して、教室での学習活動参加に向けてサポートを行っています。

上に示した6つの柱によって、本校の特別支援教育が実践されております。より一層の特別支援教育の充実に向けて、令和6年度から中学部なかよし学級を新設し、日本語の通級指導ができるようになりました。しかし、本校は在外教育施設ということで、限られた人的資源で教育活動を行っている現状もあります。なかよし学級入級や通級による指導を希望されても、全ての児童生徒を受け入れることができない場合もあります。受け入れの拡大を目指していますが、日本にはある支援員によるサポート体制がないなど、日本と同等の支援体制及び環境設備に至らない点もあります。その点で、ご理解いただけるとありがたいです。詳しい内容を知りたい方は、お問い合わせをしてください。

### 3 最後に ～特別支援教育の充実に向けて～

ある朝、小学校低学年のAさんが、4時間授業で帰る日に間違ってお弁当を持ってきてしまい、学校でお弁当を食べられないことに泣いて戸惑ってしまうということがありました。友達が、「お弁当を持ち帰って家で食べるといいんじゃない？お母さんも喜ぶと思うよ。」と言葉を掛けると、落ち着きを取り戻し、その後の活動に参加することができました。「お弁当を間違っ持ってきたくらいで・・・」と考えるのか「Aさんが困っているから力になってあげたい」と考えるのかでは、掛ける言葉は変わってきます。表面上の問題だけでなく、Aさんの性格や個性、想いを考えたからこそ、このようなエピソードになったのだと思います。

誰でも、得意なものや苦手なもの、好きなものや嫌いなものがあります。例えば、「国語は苦手だけど体育は得意な子」「言葉で表現することは苦手だけど思いやりがある子」など、様々な得意・苦手（好き・嫌い）の凸凹があるから、「その子」なのです。一方、学校生活を送る上で、「苦手」という部分が目立ち過ぎてしまう場合があります。誰にでもある、「良いところ」に目を向けて、苦手な部分は助け合う、そのような意識や行動力を学校全体でより一層、育んでいきたいと考えております。一人一人を大切にしたい特別支援教育の充実に向けて、今後ともご理解とご協力をお願いいたします。